

授業科目

介護におけるコミュニケーションII

担当教員名 星 紀恵子 (非)	対象学年	1	対象学科	社会 (介護福祉コース必修)
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	◎

授業の概要

「介護におけるコミュニケーションI」の知識・技術を踏まえ、利用者や利用者家族あるいは他職種協働におけるコミュニケーションを身につける演習を行う。

授業の目的

介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解し、利用者や利用者家族あるいは他職種協働におけるコミュニケーション能力を身につける。

学習目標

- 1 感覚機能、運動機能、認知機能、知覚機能が低下している利用者の状態を理解することができる。
- 2 介護におけるチームのコミュニケーションに必要な記録や報告書等について学び、その技法を習得することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	コミュニケーション障害	演習	星 紀恵子
2	障害のある利用者への対応の視点	演習	星 紀恵子
3	視覚障害に応じたコミュニケーション技法	演習	星 紀恵子
4	聴覚障害に応じたコミュニケーション技法	演習	星 紀恵子
5	高次脳機能障害に応じたコミュニケーション技法	演習	星 紀恵子
6	失語症に応じたコミュニケーション技法	演習	星 紀恵子
7	知的障害に応じたコミュニケーション技法	演習	星 紀恵子
8	精神障害に応じたコミュニケーション技法	演習	星 紀恵子
9	認知症に応じたコミュニケーション	演習	星 紀恵子
10	チームのコミュニケーションとその方法	演習	星 紀恵子
11	介護における記録の意義と目的と種類	演習	星 紀恵子
12	報告・連絡・相談の意義と目的	演習	星 紀恵子
13	会議の意義と目的	演習	星 紀恵子
14	会議の種類と運用	演習	星 紀恵子
15	まとめ	演習	星 紀恵子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

試験・レポート、授業態度で評価する。

履修上の留意点

グループ討議では、積極的に発言すること。

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。